

那賀川水系大規模氾濫減災協議会

令和元年12月 取組状況

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑦ 地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施

不動産関連団体の研修会等の場における水害リスクに関する情報の解説等

【四国地整】

那賀川河川事務所では、今年度から「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画の取組として、不動産関係団体の研修会等場における水害リスクに関する情報の解説等の取り組みを行っています。

今回は、宅建協会阿南支部の依頼を受けて、令和元年12月13日に「全国で多発する（想定を越える）大洪水に備えるためには～阿南市の河川事情～」と題した出前講座を実施しました。出前講座では、令和元年7月に変更した「那賀川水系河川整備計画」のポイント、「重要水防箇所」の指定状況、「那賀川河川事務所ウェブサイト」から発信している防災情報等について説明しました。

説明終了後の質疑応答では、「実際にパソコンを使用して、堤防決壊時の浸水シミュレーションを実演してもらったのでわかりやすい」、「出前講座はどのように申し込みするのか？」等の質問を頂きました。

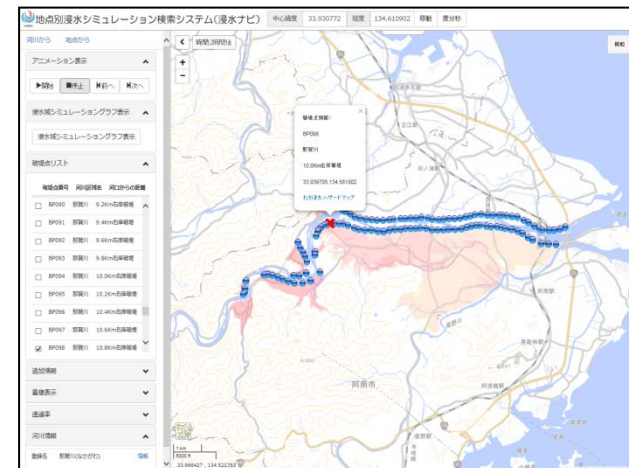
今後も地域住民に河川行政をご理解いただくために、出前講座等を通じて積極的に対応していきたいと思っております。



【出前講座の様子】



【職員による説明】



【堤防決壊時の浸水シミュレーション】